

冷房シーズン前のエアコン試運転に適したタイミングの目安を「指数」と「前線」で呼びかけ

夏前の新基準「エアコン試運転指数」と「エアコン試運転前線」を提案

エアコン試運転は知られているものの、実施に適したタイミングを知らない人が多数

ダイキン工業株式会社は、夏本番を迎える前に「エアコンの試運転」をお勧めする「スイッチオン！キャンペーン」を今年も実施いたします。このキャンペーンは、本格的にエアコンを使い始める7月ごろに修理のお問い合わせや買い替えの依頼が集中し、修理対応や設置工事にお待ち頂くことがあるため、早めの時期から試運転を行うことをご提案するものです。お客様に安心して夏を迎えていただくための本キャンペーンは2016年にスタートし、今年で8回目となります。

例年多くの人が熱中症で救急搬送される中、夏前に安心してエアコンが使えることを確認する試運転は重要な取り組みとなっています。近年では、政府や業界団体による試運転の啓発も年々活発になり、環境省や経済産業省が試運転の実施を呼びかけたり、日本冷凍空調工業会が4月10日を「エアコン試運転の日^{※1}」に制定したりするなどしています。

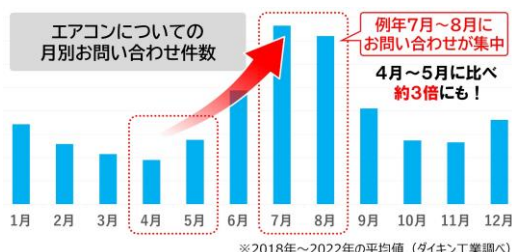
気象庁が発表した2023年6月から8月にかけての気温^{※2}は、北日本と東日本、西日本で「平年並みか高い」、沖縄・奄美では「ほぼ平年並み」との見通しで、今年もエアコンが必要な暑さの厳しい夏が予想されます。こうした中、当社は、「エアコン試運転の実施状況や適切な実施時期の認知度」について、全国の20代～60代の男女1,000名を対象に調査を行いました。その結果、多くの人がエアコン試運転のことは知りつつも、実施したことがある人は全体の半数以下に留まっていることが分かりました。また、試運転に適した気温や時期があることを、多くの人が知らない事実も明らかになりました。試運転に適したタイミングが分からずそのまま見送り、夏を迎えてしまう人が多い可能性も伺えます。

そこで当社は、試運転に適した時期を把握して計画的に取り組んでいただくことを目的に、「夏のエアコン試運転指数」と「夏のエアコン試運転前線」を考案しました。「夏のエアコン試運転指数」は、天気予報と照らし合わせることで、試運転に適した気温やタイミングの目安を分かりやすく確認できます。また、「夏のエアコン試運転前線」は、試運転に適した時期の到来を前もって意識できるため、計画的な試運転の実施に役立ちます。

本資料では、「夏のエアコン試運転指数」や「夏のエアコン試運転前線」の具体的な考え方を紹介するとともに、試運転の方法や、近年注目される節電につながるエアコンの使い方をご紹介します。全国的な猛暑が予想されるこの夏、エアコンが使えず熱中症の不安を抱えて不快な日々を過ごすことなく快適に暮らしていただけるよう、ぜひお役立てください。

● 当社がエアコン試運転をおすすめする理由は、「夏を快適に過ごしていただくため」

例年、エアコンのお問い合わせや点検のご依頼は、エアコンを使い始める6月頃から増え始め、7月、8月に集中します。混雑により暑い時期に修理対応をお待ちいただく場合があるため、本格的に暑くなる前の4月～6月前半に試運転を行い、早めに準備を済ませていただくことをご提案しています。



● エアコン試運転の手順とチェックポイント

調査結果では、エアコン試運転をしない人の約3割が「やりかたが分からない」という理由で実施を見送っていることも判明しました。より多くの方に試運転に取り組んでいただくため、簡易的に実施できる「お手軽コース」と、本格的な「念入りコース」も新たに提案します。試運転の手順とポイントをチェックして、夏場に安心してエアコンが使えることを確認しましょう。エアコン試運転の手順やポイントは「エアコンスイッチオン！キャンペーン」サイトでもご紹介しています。⇒<https://www.daikincc.com/campaign/switch-on/>

※1 4月10日を「4運10（しうんてん）」として、一般社団法人 日本冷凍空調工業会が2022年3月7日に制定。

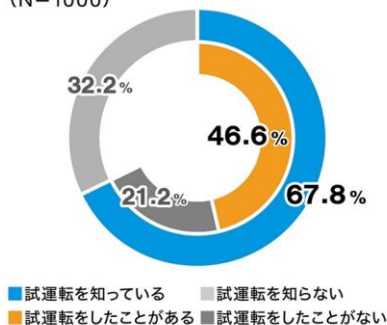
※2 気象庁「暖候期予報（2023年2月21日発表）」に基づく。

多くの人がエアコン試運転を認識しているものの 試運転をしたことがある人や適切な実施時期を把握している人は半数以下！

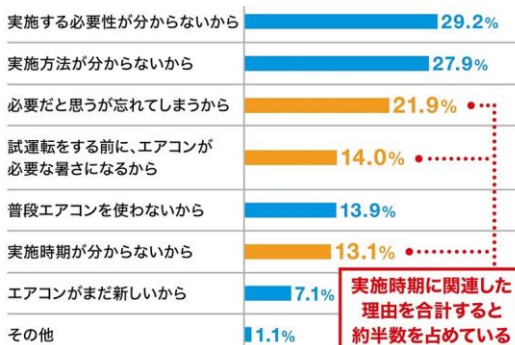
今回の調査では、全体の7割近い人が「エアコンの試運転を知っている」という結果となり、多くの人がエアコン試運転を認識していることが分かりました。一方で、試運転をしたことがある人は半数以下の46.6%と伸び悩む結果にもなりました。試運転をしたことがない理由を尋ねると、「実施時期が分からない」「必要だと思うが忘れてしまう」「試運転をする前にエアコンが必要な暑さになる」という実施時期に関連した理由が最も多いことが分かりました。

さらに、そもそも試運転の実施に適した時期があることを何割の人が知っているのかを確認すると、結果は17.2%で、エアコンの試運転に適した時期の認知が進んでいない実態が明らかとなりました。エアコン試運転そのものは認識しているものの、適した実施タイミングを知らないことで、気がついたら夏を迎えてしまっている人が多いことが伺える結果となりました。

エアコンの試運転の認知と経験
(N=1000)



エアコンの試運転をしたことがない理由 (N=534)



エアコンの試運転を行う適切な時期について
(N=1000)



多くの人がエアコン試運転に適した気温があることを知らない結果に！ エアコン試運転におすすめの気温は 23℃から 25℃！

試運転の結果エアコンに不具合があった場合、エアコンの修理や買い替えが必要です。夏を迎える前に修理や買い替えができるよう、エアコンを本格的に使いはじめる1ヵ月前までを目安に試運転をしておくことが大切です。ただ、早い時期に試運転を済ませてしまえば良いという訳ではありません。試運転を行うには、エアコンが冷房運転を10分以上続けられる温度環境が必要で、実施する日の気温を意識することが大切です。涼しい日に冷房運転をしても、エアコンは「これ以上室内を涼しくする必要は無い」と判断して冷房運転をすぐに止めてしまい、試運転が不十分になってしまう場合があります。こうしたことから、気温が23～25℃の日に試運転することをおすすめしています。

今回、試運転に適した気温があることを知っている人の割合を調査したところ、結果は12.9%で、ほとんどの人が知らない結果となりました。エアコン試運転に適した気温や時期についての認知が進んでいないことが明らかになった今回の調査により、試運転に適した気温や時期を明らかにし、分かりやすく発信することの重要性が浮き彫りとなりました。

暖かい空気



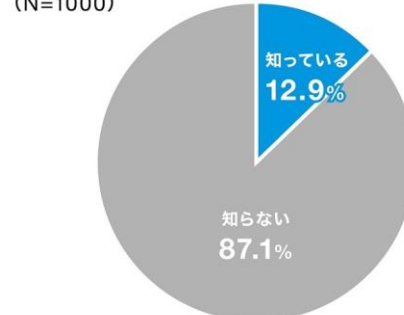
冷やされた空気

冷たい空気



エアコンは、室内機で吸い込んだ空気の温度によって運転を変化させます。冷房時、室内機が吸い込む室内の空気が冷たいと、冷房運転を停止します。

エアコンの試運転に適した「気温」があることについて
(N=1000)



<調査概要>

- ・ 調査名：エアコン試運転の実施状況や適切な実施時期の認知度（調査期間：2023年3月24日～3月27日）
- ・ 調査対象：全国の20代～60代の男女、エアコン所有者
- ・ 有効回答数：1,000サンプル

エアコン試運転の実施時期の目安を分かりやすく把握するための 「夏のエアコン試運転指数」と「夏のエアコン試運転前線」を提案！

夏のエアコン試運転指数

今回の調査結果を受け、当社は、試運転を行うのに適した気温やタイミングを分かりやすく把握できる目安として、「夏のエアコン試運転指数」を考案しました。天気予報で報じられる気温と照らし合わせれば、試運転に適した日が一目で分かります。気温23～25℃を「最適な時期」として、21～22℃を最適に次ぐ「適した時期」、20℃以下を「不向き」としています。また、気温が26℃を超えた場合、熱中症の心配も出てくる※3ことから、急いで実施いただくことを促します。

例年、夏になるとエアコンの修理や設置工事が急増します。特に集中する7月～8月には修理や工事ができるまでに通常以上の時間がかかることもあり、真夏にエアコンが使えない状況になってしまう可能性があります。本格的に暑くなる前の4月～6月前半の間を目安に、エアコン試運転指数の高い日を選んで試運転を実施することをおすすめします。

夏のエアコン試運転指数		
気温	試運転指数	参考
26℃以上	急いで実施	熱中症が心配される室内環境になってしまう可能性もあります。早めに試運転をしておきましょう。
23～25℃	最適な時期	試運転に適した室温になっている可能性が高い気温です。積極的に試運転に取り組みましょう。
21～22℃	適した時期	試運転ができる室温になっている可能性が高い気温です。試運転指数が高い日に実施できない場合はこうした日に取り組みましょう。
20℃以下	不向き	20℃以下では冷房運転が作動しなかったりすぐに止まってしまったりするため、試運転には不向きです。

【ご注意ください】
 ● エアコンをつけていないときの室温が、外気温よりも0℃～2℃程度高い場合を想定して作表しています。
 ● 室温は、天気や在室人数、家電や照明などの発熱体の量、住宅の気密性や断熱性などによっても変化します。室温が高くなっているか注意を払うことも大切です。

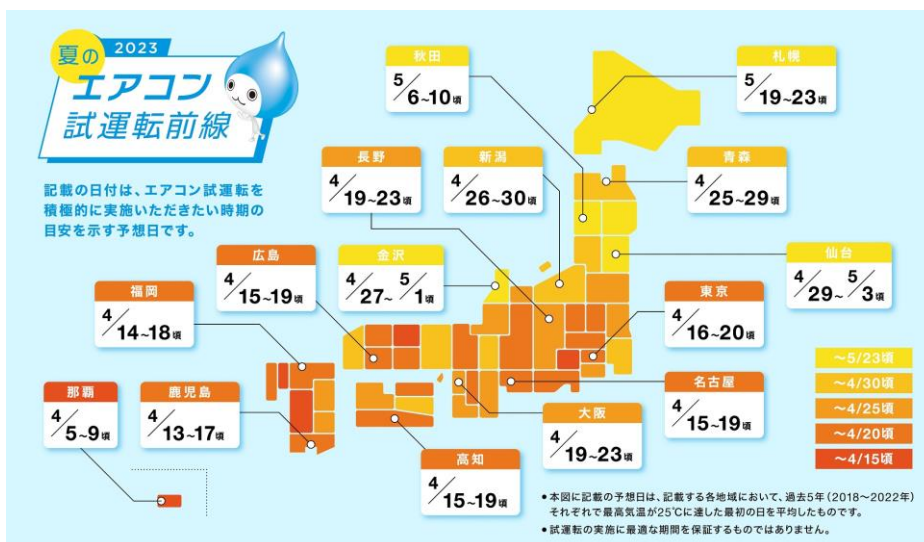
※3 環境省や日本生気象学会が情報提供している熱中症予防指針のWBGTでは、主に温度と湿度の関係で熱中症リスクを目安化しています。例えば室温26℃では湿度85%、室温28℃では湿度65%を超えると熱中症への警戒が必要とされています。

夏のエアコン試運転前線

「夏のエアコン試運転指数」とあわせて考案した「夏のエアコン試運転前線」は、全国の各地域でエアコン試運転指数が高まるとされる予想日を表すものです。エアコン試運転指数が高く、より効果的な試運転ができると考えられる気温25℃の日がいつ頃やってくるのかを前もって把握できるため、計画的な試運転の実施に役立てられます。

本前線に記載の予想日は、全国の各地域の過去5年間に於いて、各年の最高気温が25℃に達した最初の日を調査し、それらを平均した日としています。

こうした考え方で各地の予想日を見ていくと、今年の試運転前線は、4月上旬に那覇に上陸し、4月中旬には福岡へ、その後半月程度かけて本州を北上し、5月後半には札幌に到達しそうです。



試運転前線の予想日は、過去5年間で最初に気温が25℃に達した日の平均

各年で最初に気温が25℃に達した日

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
札幌	5月16日	5月19日	5月30日	6月3日	5月6日
東京	4月4日	4月22日	5月1日	4月21日	4月10日
大阪	4月20日	4月22日	5月1日	4月21日	4月10日
福岡	4月3日	5月5日	4月30日	4月3日	4月9日

過去5年間の
平均

試運転前線の予想日

	2023年の予想日
札幌	5月21日
東京	4月18日
大阪	4月21日
福岡	4月16日

エアコン試運転の手順・チェックポイント

エアコンの試運転は、エアコンを本格的に使いはじめる前に、エアコンに不具合が無いことを確認する作業です。冷房運転の際に冷風が出ることや、異常を示すランプが点灯しないことを確認することが基本です。また、より念入りに確認することで、室内機からの水漏れや、異臭や異音の有無も確認できます。

【 お手軽コース 】 次の①②を実施してください。

冷房の設定温度を最低（16～18℃）に設定し、10分ほど運転しましょう。

①

■ **なぜ最低温度で10分間運転するの？**

万が一エアコンに異常があった場合、検知するまでに約10分間の冷房運転が必要です。

また、エアコンは室温が設定温度に到達すると室内を冷やす動作を停止するため、最低温度に設定しておくことで、室温が設定温度に早期に到達することを防ぎます。なお、最低温度は機種によって異なります。

■ **試運転前に確認しておきましょう！**

電源プラグはコンセントに差し込まれていることや、リモコンの電池は切れていないことも確認しましょう。

冷風が出ているか、異常を示すランプが点滅していないか確認しましょう。

②

■ **ランプが点滅した場合！**

異常停止している可能性があります。リモコンでエラーコードをご確認いただき、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡下さい。

【エラーコード確認サイト】 <https://www.daikincc.com/errorcode/>

【お客様相談窓口】 <https://www.daikincc.com/>

【 念入りコース 】 上記①②に引き続き③④も実施してください。

さらに 30 分ほど冷房運転し、室内機から水漏れがないか確認しましょう。

③

■ **なぜ30分程度運転するの？**

エアコンは冷房運転時、室内機の中にある熱交換器が冷やされて結露水が発生します。発生した結露水はドレン配管とよばれるホースで屋外に排水されます。30分程度の冷房運転で結露水を十分に発生させ、屋外のドレン配管から水が出てくるまで確認できれば安心です。

■ **タイマー機能を有効活用しましょう！**

30分も待てられない場合は、切タイマーの活用が便利です。なお、その場を離れる場合には、万が一の水漏れに備え、エアコンの下には物を置かないようにしましょう。

不快なニオイや聞き慣れない音がしないか確認しましょう。

④

■ **異臭、異音が生じた場合は！**

ニオイや音の種類により、様々な要因が考えられます。AI故障診断サイトから、ニオイや音の種類にあわせた原因をご紹介しますのでご確認ください。

【AI故障診断】 https://www.daikincc.com/AI_chatbot/

■ **フィルターや熱交換器の汚れ、振動もチェック！**

フィルターや熱交換器の汚れが過多となっている場合、嫌なニオイの原因になることがあります。また、振動が原因で異音に至るケースもあります。ぜひチェックをお願いします。

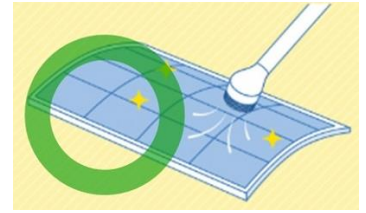
詳しい情報や試運転方法は、「エアコンスイッチオン！キャンペーン」WEBページで公開中！

<https://www.daikincc.com/campaign/switch-on/>

節電につながるエアコンの上手な使い方

2週間に1回のフィルター掃除がおすすめ

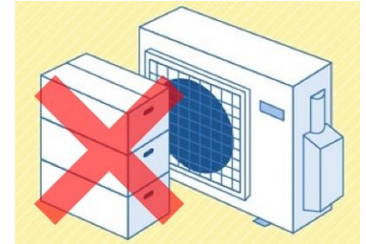
エアコンは、室内機が周囲の空気を取り込み、室内機の中で温めたり冷やしたりして室内に戻すことで室温をコントロールしています。室内機の中にある**フィルター**は、**室内機が取り込む空気の中に漂うホコリを止める役割**をしています。フィルターにホコリが堆積すると、室内機を通る空気の量が減り、室温が設定温度に到達するまでに時間がかかり、無駄な電力の消費につながります。**2週間に1回のフィルター掃除がおすすめ**しています。



室外機周辺の空気の流れを確保して、高温になることも避ける

エアコンの冷房運転は、室内の空気中の熱を減らすことで部屋を涼しくしています。室内機が室内の熱を集めて、冷媒と呼ばれるガスが熱だけを室外機に運び、**室外機は、背面や側面から吸い込んだ空気に熱を乗せて正面に吹き出します。**

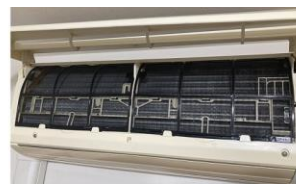
室外機の吸込口や吹出口がふさがれると、室内から運ばれてきた熱を効率的に放出できなくなり、エアコンに負荷がかかってしまいます。エアコンの運転効率下がること、消費電力が上がり、電気代も上がります。室外機にカバーをかけたり、室外機の周辺に荷物を置いたりせず、室外機周辺の流れを妨げないようにしましょう。



また、**室外機周辺が高温になった場合も、エアコンの運転効率が下がることがあります。**夏場、直射日光で室外機の周辺が熱くなってしまう場合は、日影が作れて風通しも良い「よしず」などを、**室外機から1メートルほど離れたところに立て掛ける**ことも効果的です。

フィルターのホコリと室外機周辺の障害物で、1ヵ月1,700円以上ムダになることも

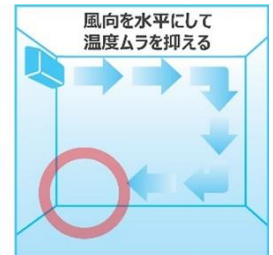
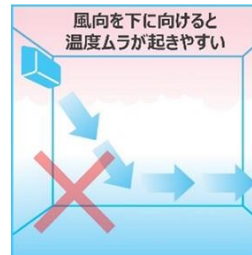
エアコンのフィルターを1年間掃除しないと消費電力量が約25%増加する場合があることが試算されています。さらに長い期間掃除されていない可能性も考えられます。**約3年分のホコリが溜まったフィルターを用いて実験したところ、フィルターの目詰まりで、48.9%の消費電力量が余分に発生する結果となりました。1ヵ月の電気代に換算すると800円に相当します。**フィルターのホコリに加えて、**室外機周辺に障害物があることで風通しも悪くなると、105.1%の消費電力量が余分に発生する結果となりました。**これは、**1ヵ月あたりの電気代で1,720円に相当します。**このように、手軽にできるフィルター掃除や室外機周辺の整理整頓だけでも大きな節電につながります。試運転とあわせて、エアコンのお手入れをすることもおすすめします。



電気代の換算：公益社団法人 全国家庭電気製品公正取引協議会 電力料金目安単価 31円/kWh[令和4年7月改定]より

エアコン風向や空気清浄機などを使った空気の攪拌で、温度ムラを抑える

暖かい空気は上昇する性質があり、夏場の室内では、天井側と床側の空気の温度に差が出る「**温度ムラ**」が起こりやすくなっています。冷房運転時に温度ムラができていると、エアコンが「室内はまだ設定温度に達していない」と判断し、**人が暮らす床付近は十分涼しくなっても、必要以上に運転してしまうことがあります。**快適性の低下だけでなく、**エアコンへの負荷が上がり、消費電力や電気代の増加につながります。**エアコンの風向を水平にしたり、空気清浄機やサーキュレーターなどを使って室内の空気を攪拌したりするなど、温度ムラを抑える工夫をお勧めします。



【お問い合わせ先】ダイキン工業株式会社 コーポレートコミュニケーション室
本社 (06) 6147-9923 / 東京支社 (03) 6716-0112
E-mail: prg@daikin.co.jp